

# 憲法しんぶん速報版

第74号

2004年2月21日

発行＝憲法会議

Tel 03-3261-9007

Fax 03-3261-5453

## 全ての地域、職場で憲法の先駆性学ぼう 改憲阻止へ熱気こめ討論と交流

自民、民主、公明各党の改憲論議がエスカレートするなか、2月20日、「憲法学習強化をめざす討論交流集会」がひらかれ、弁護士・学者、労働組合や民主団体などから約60人が参加しました。集会では、小林武・南山大学教授の基調講演を受けた後、各地の憲法学習の取り組みなどについて交流しました。

### 当面1000人の講師団提起

集会は、憲法会議、自由法曹団、歴史教育者協議会、労働者教育者協議会の共催で開かれました。

「いま憲法を学ぶことの意義」と題して講演した小林氏は、憲法をめぐる選択は「祖国と世界の明日にかかわる国民の歴史的事業」であり、憲法の先駆性、とりわけ、「9条は世界平和のための宝物」であること学んでいくことの大切さを強調しました。

憲法会議の川村俊夫事務局長が、①すべての地域、職場で憲法学習をおこなう。また、さまざまな要求にもとづく運動で意識的に憲法と結びつけた論議をおこなう。②そのため、当面1000人を目標とした講師団をつくるが、弁護士・学者にとどまらず、労働組合、

### ◇当面の主な日程◇

<3月3日>

第1回署名提出共同行動

◇12:15～衆院議員面会所集合

◇主催「5・3憲法集会実行委員会」

※集まっている署名は当日持参するか、事前に憲法会議へ。

<3月7日>

憲法会議第39回全国総会

◇時間 11:00～16:30

◇会場 全労連会館2F

※方針案は2月末に各団体、各地に発送します。

民主団体の幹部も率先して講師活動に参加する、③憲法会議等主催団体は、そのための学習資材、情報提供に全力をあげる、と「行動提起」しました。

長野、千葉、東京から学習会の経験

が語られ、機関紙に文部省の『あたらしい憲法のはなし』を掲載し労働者が憲法を読むための工夫をしている（建交労）などの報告がおこなわれました。

集会後、15人が講師登録しました。

### 政党の改憲に向けた動き

【自民党】 19日、党憲法調査会の憲法改正プロジェクトチームの会議で論点整理のたたき台をまとめました。

○前文に盛り込むべき事項＝▽国民民主権、基本的人権の尊重、平和主義の三原則▽わが国の歴史、伝統、文化、国柄の尊重、健全な愛国心▽日本のめざすべき方向および理念▽過った平和主義、人権意識への戒め▽九条の見直しを反映させる▽環境権、循環型社会

○国会と内閣＝▽二院制…賛成（チェック・アンド。バランスが必要、衆参両院の選挙制度にすべき、など）、反対（国会の政策決定に時間がかかりすぎる、一院制で定数削減を）

▽首相公選制…賛成（立候補から時間をかければ人気投票にならない）、反対（象徴天皇制との関係がおかしくなる、日本の風土になじまない、など）

なお、18日の調査会総会では山崎拓前副総裁が講演、「集団的自衛権の行使を明記すべき」と講演しました。

【民主党】 20日、党憲法調査会の小委員会座長らの会議を開き、憲法改正案の素案となる「憲法提案」の中間報告を、6月上旬までにまとめる方針を決めました。今後、「総論」、「統治制度」、「人権」、「分権」、「国際・安保」の五つの小委員会でも検討に入ります。

【公明党】 18日、党憲法調査会

### 中曽根元首相の9条改悪案

中曽根元首相は18日、安保議連（「新世紀の安全保障体制を考える若手議員の会」、自民88、公明2、民主79ら議員173人で構成）で講演、「議員個人の利益より国家の命運が大事だ。脱藩してでも前進する勇気がなければならない。政界再編、大連立もありうる」と述べました。

また、中曽根氏は9条改悪案についてのべ、第一項は現行のまま、第二項に国防軍の保持、あらたに設ける第三項で国防軍による国際貢献を規定する、との私案を示しました。

の会合で集団的安全保障行使の是非を論議しました。

遠藤乙彦政調副会長「国際平和協力は武器使用基準見直しなどで対応できる。集団的自衛権行使否認はわが国の歴史的教訓だ」

福島豊政調副会長「今の国際情勢を考えると極東とかアジアとか地域限定で認めなければ憲法論議はもたない」

上田勇衆院議員「友好国の市民を自衛隊が守れないのはおかしい。地域を問わず、自衛隊の置かれた状況に応じて、一部行使を認めてもいい。」

### 各地でも「5・3集会」共同で

各地で「5・3 憲法集会」の準備がすすんでいます。これを広範な勢力の共同で開くための話し合いが、東京のほか、宮城、石川ですすすんでいます。

なお、このほか、香川、高知で例年共同でひらかれているほか、京都でも昨年は共同の集会が開かれています。